

桜の花も一足先に満開を迎え、長い冬をじっと耐え続けてきた草木が一斉に芽吹いてきた春うらかな今日の良き日、先ほど入学を許可しました二四〇名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはこの堺上高等学校四十期生として、本日から伝統ある本校の一員になりました。その輝かしい門出を心より祝福いたします。

保護者の皆様におかれましては、この晴れの日を迎えられますことは感慨も人一倍のことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

また、本日はご来賓としてPTA 役員の皆様方のご臨席を賜り、多数の保護者様のご列席のもと、大阪府立堺上高等学校の第四十回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びであり、高いところからではありますが、心より御礼申し上げます。

新入生の皆さんは九年間にわたる小学校、中学校の義務教育を終えられ、これからは、自ら選択した高校生活を始めることになります。特に、皆さんが中学生生活を過ごした三年間は、人類が過去に経験したことのない新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、さまざまな行動制限のある生活が求められました。皆さんの中学三年間、友達や先生の素顔をちゃんと見たことがないこともあったのではないのでしょうか。マスクをつけながら過ごした中学生活から、これからのマスクの着用は、混雑する場所や医療機関や高齢者施設での着用が推奨されるなど、着用は個人の判断となっていきます。マスクは、顔を覆うことで表情が伝わりにくいのですが、心を覆うこともあったと感じています。学校へ行くことが当たり前ではなくなったこの三年間で、そのことがかえって、学校へ行くことの大切さ、人と人が直接出会うことのすばらしさを感じたこの三年間でもありました。今後、来月五月八日以降、感染対策分類が第二類から第五類へ移行されます。新型コロナウイルス感染対策には、十分配慮しながらも、皆さんのこれから始まる高校生活において、心のマスクをつけない高校生活ができるよう、教職員一丸となって、皆さんを応援していきます。

さて、新入生の皆さん、十六歳という年齢は子どもだと思いませんか。大人だと思いませんか。十八歳で成人といわれるようになりましたが、新入生の皆さんは、「時にはもう大人だといわれ、時にはまだ子どもだといわれる、青年という時期です。これから始まる高校生活は「大人の階段」を登っている途中の青年だと思ってください。

今日から始まる高校時代の様々な体験が、皆さんの人生の力になります。この時期の出会いが、人生の宝になります。

だから、今だから出来る チャレンジ、今だから出来る 前向きな失敗 を してみてください。

そのために堺上高校での授業や学校行事、部活動など、熱意のある先生方が全員で皆さんを支えていきます。頑張ってください。

先月にワールドクラシックベースボールという、野球の世界一を決める大会がありました。皆さんもニュースで知っていると思いますが、日本代表が、世界一になりました。たくさんの素晴らしい選手がいましたが、中でも、アメリカメジャーリーグで活躍している「大谷翔平選手」の活躍が目立ちました。その大谷選手の言葉を、新入生の皆さんに紹介します。

「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生を作るんだ」

この言葉は、大谷選手が十七歳の花巻東高校の二年生の時に、「人生の目標シート」に書いた言葉です。その当時、まさか世界一の選手になれるなんて考えてもいなかった高校生のその時に、自分の生き方をしめた言葉です。

ただ、高校時代は、自分がどんな大人になるのか、何になりたいのか、わからずに迷う時代でもあります。だから、たくさん考えてみてください。答えをすぐ出せる人のほうが少ないと思います。

でも、今だから出来る チャレンジ、今だから出来る 前向きな失敗 をしてください。

大谷選手の名言として「悔しい経験がないとうれしい経験もない」

「無理だと思わないことが、一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです」

という言葉もあります。

今日から始まる高校生活を有意義な時にできるよう、先生方全員で応援しています。

最後になりますが、保護者の皆様にお願いがございます。

本日より、三年間、大切なお子様をお預かりすることになります。

本校の教職員がお子様の教育に携わっていくにあたりましては、この多感な時期、ご家庭並び施設と学校との連携が不可欠であることはいうまでもありません。学校と保護者が互いに信頼し、それぞれの役割を確認し、協力することが、お子様の三年間の学校生活を充実させるための最善の方法だと考えております。

今後とも、本校教育活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

それでは、四十期生の皆さんが、卒業する時に堺上高校に入学してよかったと思える三年間になることを願って、保護者の皆様が堺上高校に入学させて良かったと思っただけを願って、私の式辞の結びといたします。

令和五年四月十日
大阪府立堺上高等学校
校長 大門 史朗